

平成 23 年 7 月 22 日
環境省水・大気環境局
水環境課
水環境課海洋環境室
土壌環境課地下水・地盤環境室

東日本大震災への対応について

I 発災直後の対応

- 地方自治体の担当部局に、有害物質等による環境汚染事故及び施設の破損等の事案があれば速やかに情報提供するように依頼（3 月 11 日）
※東北、関東の各県・政令市より 29 件の報告。いずれも、復旧等速やかに対応された。
- 都道府県・政令市の環境担当部（局）長に対し、地震による環境汚染を未然に防止するため、環境調査・モニタリング等について、必要な資機材・人員の派遣等の支援を要請。（3 月 14 日）
※東北地方環境事務所において、支援自治体と被災自治体のマッチング実施（5 月 20 日現在、富山県、福井県、札幌市、名古屋市、神戸市、尼崎市より 7 件の支援（水環境関係なし）。）
- 関係団体（（社）日本環境技術協会等）に対し、環境汚染防止に関する支援を要請（3 月 15 日・16 日）
（社）日本環境測定分析協会が、当協会会員有志の環境測定分析事業者と協力して、水や土壌等を対象とした無償での測定分析を開始（検査依頼受付期間：4 月 1 日～5 月 31 日）。

II 環境モニタリング等

- 被災地において、環境汚染による国民の健康への悪影響や生活環境の悪化が懸念されることから、第 1 次補正予算により、公共用水域・地下水の水質、海洋環境について、国が緊急に環境モニタリング調査を実施（別紙 1）。
なお、公共用水域（河川）・地下水については、福島県内の有害物質等の調査と併せて放射性物質濃度（放射性ヨウ素、放射性セシウム）を測定（海洋環境については、一部の測点において併せて放射性物質濃度（放射性セシウム）を測定）。

（公共用水域）

主に津波による甚大な被害を受けた青森県太平洋側から茨城県の沿岸地域の河川及び海域の水質について、環境基準項目、ダイオキシン類（水質・底質）の調査を実施（調査日：5 月 26 日～6 月 15 日）。

<結果>

- ・福島県内（河川）の放射性物質濃度の測定結果を公表。

（6月3日：別紙2）

水質については、放射性ヨウ素（I-131）、放射性セシウム（Cs-134、Cs-137）ともに不検出。

底質については、放射性ヨウ素が一部の地点で検出（42～65 Bq/kg）され、放射性セシウムが全地点で検出（Cs-134、Cs-137 合計 99～30,000 Bq/kg）。

- ・福島県内の有害物質等の調査結果を公表。（6月30日：別紙3）

河川（全23地点）の水質から、砒素（1地点）、ほう素（3地点）について環境基準を上回る値がみられた。海域（全24地点）の水質については、全地点で人の健康の保護に関する環境基準を下回った。

- ・岩手県及び宮城県内の有害物質等の調査結果を公表。（7月8日：別紙4）

岩手県については、河川（全18地点）の水質、海域（全34地点）の水質ともに全地点で人の健康の保護に関する環境基準を下回った。

宮城県については、河川（全21地点）の水質から、ふっ素（1地点）、ほう素（4地点）について環境基準を上回る値がみられた。海域（全56地点）の水質については、全地点で人の健康の保護に関する環境基準を下回った。

- ・青森県及び茨城県の有害物質等の調査結果を公表。（7月15日：別紙5）

青森県の河川（全3地点）、海域（全16地点）の水質及び茨城県の河川（全11地点）、海域（全22地点）の水質ともに、全地点で人の健康の保護に関する環境基準を下回った。

- ・ダイオキシン類については、現在分析中。

（地下水）

地震や津波による甚大な被害を受けた5県（青森県、岩手県、宮城県、福島県及び茨城県）の地下水について、環境基準項目及びダイオキシン類の調査を実施（調査日：6月7日～7月）。

<結果>

- ・福島県内の5地点（6月21日：別紙6）、41地点（7月7日：別紙7）、55地点（7月14日：別紙8）の放射性物質濃度について調査結果を公表。

放射性ヨウ素（I-131）、放射性セシウム（Cs-134、Cs-137）ともに全地点で不検出。

- ・環境基準項目、ダイオキシン類については、現在分析中。

(海洋)

津波の被害にあった地域における海洋の状況を把握するため、宮城県沖、岩手県沖及び福島県沖の海域 8 測線 26 測点において、環境基準の生活環境項目、油分、有害物質（PCB、1,2-ジクロロエタン等）及びダイオキシン類の調査を実施（調査日：6月3日～19日）。

<結果>

- ・分析が終了した生活環境項目及び放射性物質の測定結果（速報）を公表。
(7月8日：別紙9)

7 測点の海水、海底土について放射性物質濃度の測定を行い、海水中からは全て不検出、海底土からは Cs-134、Cs-137 合計で 24～1,380 Bq/kg 検出。

- ・油分、有害物質及びダイオキシン類については、現在分析中。

- 水浴場の放射性物質に係る指針を策定（6月23日）、都道府県に通知（6月24日：別紙10）。

Ⅲ 海洋ごみ・海洋投入処分

- 東日本大震災に係る漂流・漂着ごみの状況については、海上保安庁、国土交通省河川局等と連携して、情報収集を実施。

- 宮城県、岩手県において、水産物が腐敗し周辺環境への悪影響が懸念されているため、両県と協議し、緊急的に腐敗水産物の海洋投入処分が行えるよう海防法に基づく告示を発出（宮城県：4月7日（7月1日に海洋投入処分完了）、岩手県6月17日（7月14日までに海洋投入処分完了予定））（別紙11）。

節電への御協力をよろしくお願いいたします。

(お知らせ)

東日本大震災の被災地における環境モニタリング調査について

平成 23 年 5 月 2 日 (月)
環境省水・大気環境局総務課
直 通 : 03-5521-8289
代 表 : 03-3581-3351
課 長 : 粕谷 明博 (内線 6510)
課長補佐 : 大武 喜勝 (内線 6512)
環境省大臣官房廃棄物・リサイクル
対策部廃棄物対策課
直 通 : 03-5501-3154
代 表 : 03-3581-3351
課 長 : 徳田 博保 (内線 6841)
課長補佐 : 藤原 忠 (内線 6846)

東日本大震災に伴い、被災地において環境汚染による国民の健康への悪影響や生活環境の悪化が懸念されることから、大気、公共用水域・地下水の水質、土壌、海洋環境等について国が緊急に環境モニタリング調査を実施します。

1. 趣旨

東日本大震災に伴い、被災地においては、倒壊した建築物の解体作業等によるアスベストの飛散、被災した工場等からの有害物質の大気・公共用水域・地下水・土壌への漏出、津波による廃棄物の海上流出や油汚染等により、国民の健康への悪影響や生活環境の悪化が懸念されています。

これらを予防し、国民の健康の保護及び生活環境の保全を図るためには、有害物質等による環境汚染の有無・程度等の被災地の環境に関する基礎的な情報を緊急かつ的確に把握する必要があることから、大気、公共用水域・地下水の水質、土壌、海洋環境等について国（環境省）が緊急に環境モニタリング調査を実施することとしています。

2. 調査内容

- (1) 大気
- (2) 公共用水域の水質
- (3) 地下水質
- (4) 土壌
- (5) 海洋環境 等

※ 詳細については、別紙のとおりです。

※ アスベストの大気濃度調査については、既に予備調査を実施しています。詳細は、環境省ホームページの「東日本大震災への対応」中にある「アスベスト対策」を御覧ください。

(1) 大気

【調査項目】

- ・ NO₂、SO₂、SPM（浮遊粒子状物質）、CO
- ・ 有害大気汚染物質のうち優先取組物質（ベンゼン、トルエン等）
- ・ ダイオキシン類

【調査地点】

- ・ 岩手県、宮城県、福島県及び茨城県において数十地点で調査を実施する予定です。
- ・ 避難所等、被災者が多数生活している地域であって、
 - ① 被災した工業地帯の付近等有害物質が流出している可能性が比較的高い地域
 - ② ヘドロが大量に打ち上げられている地域
 - ③ ダイオキシン等有害物質の発生が懸念される地域を中心に調査を実施することを想定していますが、今後、関係地方公共団体と調整の上、具体的な調査地点を決定する予定です。

※ 福島県内の災害廃棄物用の仮置き場においては、併せて放射線モニタリングも実施する予定です。

【担当課室・連絡先】

環境省水・大気環境局大気環境課

直 通：03-5521-8293

担当者：苔口、芳川（内線 6572、6539）

環境省水・大気環境局総務課ダイオキシン対策室

直 通：03-5521-8291

担当者：外山（内線 6580）

(2) 公共用水域の水質

【調査項目】

- ・ 砒素、鉛、ポリ塩化ビフェニル（PCB）等の人の健康保護に関する項目（健康項目）
- ・ BOD、COD等の生活環境保全に関する項目（生活環境項目）
- ・ ダイオキシン類

【調査地点】

- ・ 主に津波による甚大な被害を受けた青森県太平洋側～茨城県の沿岸地域の河川及び海域の公共用水域において、300地点程度で調査を実施する予定です（福島第1原子力発電所から半径20km圏内（警戒区域）は除く。）。
- ・ 具体的な調査地点については、
 - ① 津波被害を受けた地域における主要地点
 - ② 地震や津波の被害により工場等からの有害物質等が流出しているおそれのある区域

を想定していますが、今後、関係地方公共団体と調整の上、決定する予定です。

※ 福島県内の調査に当たっては、上記の調査と併せて放射性物質濃度（放射性ヨウ素及び放射性セシウム）についても測定する予定です。

【担当課室・連絡先】

環境省水・大気環境局水環境課

直 通：03-5521-8316

担当者：古田、長谷（内線 6614、6628）

(3) 地下水質

【調査項目】

- ・有機塩素化合物、砒素、鉛等の人の健康保護に関する項目（健康項目）
- ・ダイオキシン類

【調査地点】

- ・ 地震や津波による甚大な被害を受けた５県（青森県、岩手県、宮城県、福島県及び茨城県）にある地下水（湧水を含む。）について、２５０地点程度で調査を実施する予定です（福島第１原子力発電所から半径２０km 圏内（警戒区域）は除く。）。
- ・ 具体的な調査地点については、
 - ① 有害物質を使用等（貯蔵を含む。）している施設が破損等し、有害物質による地下水汚染が生じるおそれのある地域にある井戸
 - ② ①以外で有害物質による地下水汚染状況を把握することが必要と考えられる地域にある井戸を想定していますが、今後、関係地方公共団体と調整の上、決定する予定です。

※ 福島県内の調査に当たっては、上記の調査と併せて、地下水の放射性物質濃度（放射性ヨウ素及び放射性セシウム）についても測定する予定です。

【担当課室・連絡先】

環境省水・大気環境局土壌環境課地下水・地盤環境室

直 通：03-5521-8309

担当者：松田、遠藤、堀内（内線 6671、6672、6675）

(4) 土壌

【調査項目】

- ・特定有害物質２５物質（ポリ塩化ビフェニル（PCB）、六価クロム化合物等）
- ・ダイオキシン類

【調査地点】

- ・ 岩手県、宮城県及び福島県において数十カ所程度を調査する予定です。
- ・ 津波による工場等からの特定有害物質の漏出が懸念される地点を中心に調査を実

施し、また、火災によりダイオキシン類が発生したおそれがある地域において、ダイオキシン類の調査を実施することを想定していますが、今後、関係地方公共団体と調整の上、具体的な調査地点を決定する予定です。

【担当課室・連絡先】

環境省水・大気環境局土壌環境課

直通：03-5521-8338

担当者：紺野、助川（内線 6649、6659）

(5) 海洋環境

【調査項目】

- ・油分
- ・有害物質（ポリ塩化ビフェニル (PCB)、1,2-ジクロロエタン等）
- ・ダイオキシン類

【調査地点】

- ・津波の被害にあった地域における海洋の状況を正確に把握するため、宮城県沖、岩手県沖及び福島県沖の海域において7つ程度の測線を設定し、1測線当たり3地点の海水及び底質の調査を実施する予定です。

【担当課室・連絡先】

環境省水・大気環境局水環境課海洋環境室

直通：03-5521-9023

担当：宮元、黒川（内線 6631、6632）

(6) 津波堆積物（ヘドロ等）

津波の被害にあった地域においては、海底に由来する大量の津波堆積物が打ち上げられており、その中には、もともと周辺地域に存在していた有害物質が含まれている場合もあると考えられます。よって、複数の地点（50箇所程度）における津波堆積物の性状分析を行い、各々の性状に応じた適正処理の検討を行う予定です。

【担当課室・連絡先】

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課

直通：03-5501-3154

担当：藤原、大野（内線 6846、6857）



節電への御協力をよろしくお願いいたします。

福島県内の公共用水域の水質モニタリング調査における 放射性物質濃度の測定結果（速報）について

平成23年6月3日（金）
環境省水・大気環境局水環境課
直 通：03-5521-8316
代 表：03-3581-3351
課 長：吉田 延雄（内線 6610）
課長補佐：古田 哲央（内線 6614）

環境省では、東日本大震災を受け、被災地の公共用水域において緊急的に有害物質等の水質モニタリング調査を実施しております。

福島県内の河川については、有害物質等の調査と併せ、水質、底質について放射性物質濃度も測定を実施しました（調査日：5月26日～29日）。

なお、本調査は、国土交通省と連携して実施しました（調査日：5月24日）。

○結果概要

（1）河川の水質

全地点において、放射性ヨウ素（I-131）、放射性セシウム（Cs-134、Cs-137）ともに不検出でした（検出限界値：10Bq/L）。

（2）河川の底質

放射性ヨウ素は、一部の地点において、不検出～65Bq/kg（乾泥）の幅で検出されました（検出限界値：30Bq/kg）。

放射性セシウムは、全地点において、セシウム134が48～14,000Bq/kg（乾泥）の幅で、セシウム137が51～16,000Bq/kg（乾泥）の幅で検出されました（検出限界値：30Bq/kg）。

（詳細別紙）

※国土交通省調査についての問い合わせ先
国土交通省河川局河川環境課
代 表：03-5253-8111
課長補佐：空閑 健（内線 35443）
水環境管理係長：金井信宏（内線 35482）
直 通：03-5253-8447

(別紙)

○調査結果

・河川の水質

採取地点（29地点）			採取日	放射性物質濃度（Bq/L）			備考	
地域	河川	地点		I-131	Cs			その他検出された核種
					Cs-134	Cs-137		
浜通り	地蔵川	浜畑橋	5月29日	不検出	不検出	不検出	不検出	
	小泉川	百間橋	5月29日	不検出	不検出	不検出	不検出	
	宇多川	百間橋	5月29日	不検出	不検出	不検出	不検出	
	真野川	真島橋	5月29日	不検出	不検出	不検出	不検出	
	新田川	草野	5月28日	不検出	不検出	不検出	不検出	
		小宮	5月28日	不検出	不検出	不検出	不検出	
		木戸内橋	5月29日	不検出	不検出	不検出	不検出	
		鮭川橋	5月29日	不検出	不検出	不検出	不検出	
	浅見川	坊田橋	5月28日	不検出	不検出	不検出	不検出	
	大久川	蔭磯橋	5月28日	不検出	不検出	不検出	不検出	
	仁井田川	松葉橋	5月28日	不検出	不検出	不検出	不検出	
	夏井川	北ノ内橋	5月26日	不検出	不検出	不検出	不検出	
		六十枚橋	5月28日	不検出	不検出	不検出	不検出	
	藤原川	みなと大橋	5月28日	不検出	不検出	不検出	不検出	
	鮫川	鮫川橋	5月28日	不検出	不検出	不検出	不検出	
	蛭田川	蛭田橋	5月28日	不検出	不検出	不検出	不検出	
中通り	阿武隈川	大正橋	5月24日	不検出	不検出	不検出	不検出	※国土交通省調査
		阿久津橋	5月24日	不検出	不検出	不検出	不検出	※国土交通省調査
	広瀬川	阿武隈川合流前	5月24日	不検出	不検出	不検出	不検出	※国土交通省調査
		館ノ腰橋上流	5月26日	不検出	不検出	不検出	不検出	
	摺上川	阿武隈川合流前	5月24日	不検出	不検出	不検出	不検出	※国土交通省調査
	荒川	阿武隈川合流前	5月24日	不検出	不検出	不検出	不検出	※国土交通省調査
	移川	小瀬川橋	5月26日	不検出	不検出	不検出	不検出	
	移川 （口太川）	口太川橋	5月26日	不検出	不検出	不検出	不検出	
	五百川	阿武隈川合流前	5月26日	不検出	不検出	不検出	不検出	
	逢瀬川	阿武隈川合流前	5月26日	不検出	不検出	不検出	不検出	
	大滝根川	阿武隈川合流前	5月26日	不検出	不検出	不検出	不検出	
	釈迦堂川	阿武隈川合流前	5月24日	不検出	不検出	不検出	不検出	※国土交通省調査
社川	王子橋	5月26日	不検出	不検出	不検出	不検出		

※本分析における水質の放射性物質濃度の検出限界値 (10Bq/L) を下回る場合は、不検出と記載。

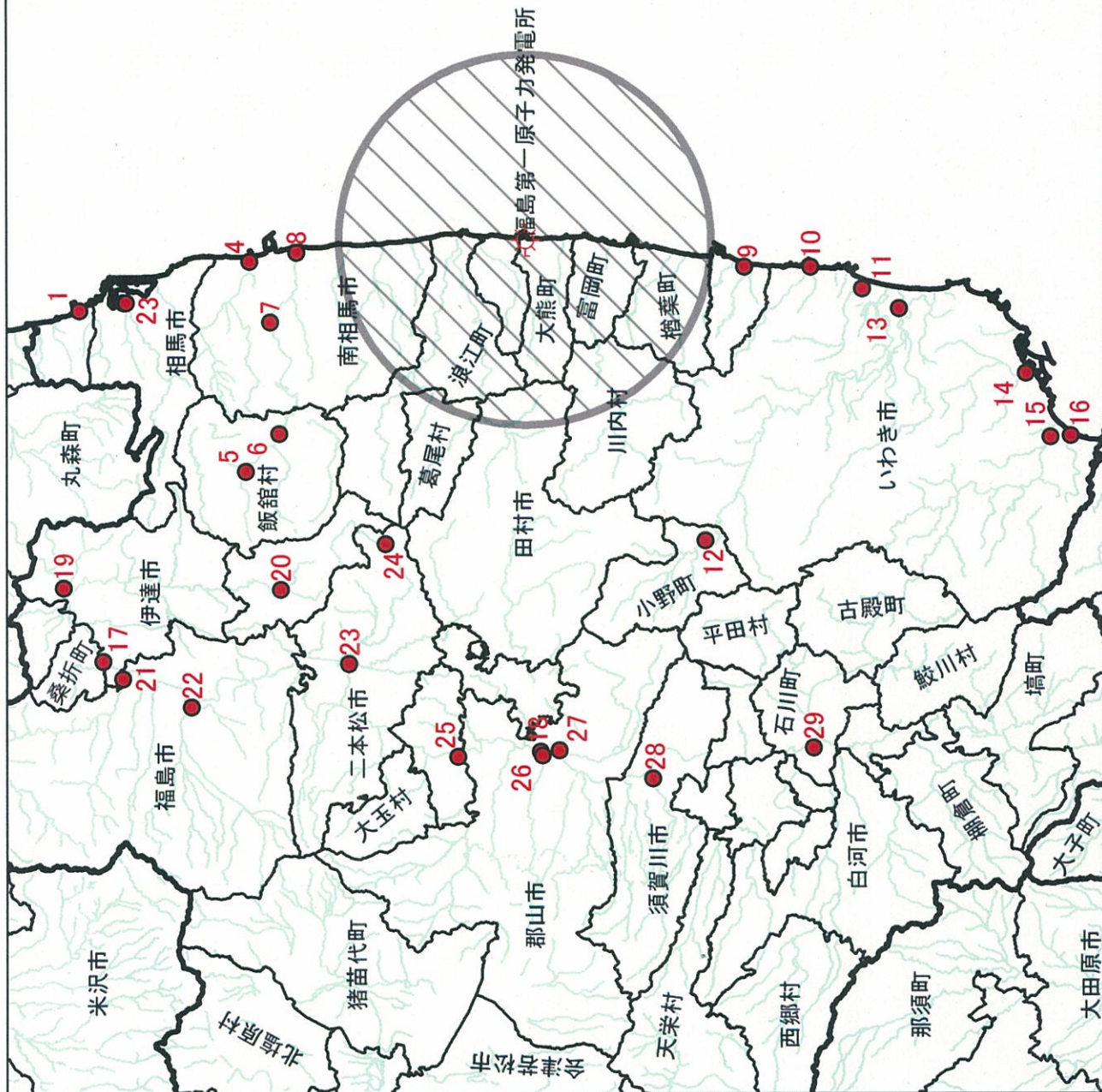
・河川の底質

採取地点（29地点）			採取日時	性状	放射性物質濃度（Bq/kg（乾泥））				備考
地域	河川	地点			I-131	Cs		その他検出された核種	
						Cs-134	Cs-137		
浜通り	地蔵川	浜畑橋	5月29日	シルト混細砂	不検出	2,000	2,300	不検出	
	小泉川	百間橋	5月29日	小レキ混細砂	不検出	660	700	不検出	
	宇多川	百間橋	5月29日	レキ混砂	不検出	48	51	不検出	
	真野川	真島橋	5月29日	細砂混シルト	不検出	6,900	7,800	不検出	
	新田川	草野	5月28日	小レキ混砂	42	7,200	7,900	不検出	
		小宮	5月28日	砂混小レキ	不検出	2,300	2,500	不検出	
		木戸内橋	5月29日	小レキ混砂	不検出	14,000	16,000	不検出	
		鮭川橋	5月29日	シルト混細砂	不検出	1,900	2,100	不検出	
	浅見川	坊田橋	5月28日	砂	不検出	860	950	不検出	
	大久川	蔭磯橋	5月28日	砂、粗砂	不検出	2,200	2,300	不検出	
	仁井田川	松葉橋	5月28日	砂、粗砂、レキ	不検出	980	1,000	不検出	
	夏井川	北ノ内橋	5月26日	粗砂	不検出	95	94	不検出	
		六十枚橋	5月28日	粗砂、砂	不検出	190	220	不検出	
	藤原川	みなと大橋	5月28日	シルト混砂	不検出	660	730	不検出	
	鮫川	鮫川橋	5月28日	シルト混砂	不検出	700	770	不検出	
	蛭田川	蛭田橋	5月28日	レキ混砂	不検出	97	110	不検出	
中通り	阿武隈川	大正橋	5月24日	砂	65	11,000	12,000	Cs-136：65	※国土交通省調査
		阿久津橋	5月24日	レキ混砂	不検出	260	290	不検出	※国土交通省調査
	広瀬川	阿武隈川合流前	5月24日	砂	不検出	4,300	4,700	不検出	※国土交通省調査
		館ノ腰橋上流	5月26日	レキ、砂	52	4,800	5,100	不検出	
	摺上川	阿武隈川合流前	5月24日	砂レキ	不検出	1,000	1,100	不検出	※国土交通省調査
	荒川	阿武隈川合流前	5月24日	砂	46	4,200	4,600	不検出	※国土交通省調査
	移川	小瀬川橋	5月26日	レキ混砂	不検出	1,100	1,300	不検出	
	移川 （口太川）	口太川橋	5月26日	レキ混砂	不検出	3,400	3,700	不検出	
	五百川	阿武隈川合流前	5月26日	レキ混砂	不検出	1,800	2,100	不検出	
	逢瀬川	阿武隈川合流前	5月26日	レキ混粗砂	不検出	850	940	不検出	
	大滝根川	阿武隈川合流前	5月26日	砂	不検出	120	140	不検出	
	釈迦堂川	阿武隈川合流前	5月24日	シルト混砂	不検出	1,100	1,200	不検出	※国土交通省調査
	社川	王子橋	5月26日	砂	不検出	120	130	不検出	

※本分析における底質の放射性物質濃度の検出限界値（30Bq/kg）を下回る場合は、不検出と記載。

※底質は水質採取時に併せて採取。

（地図別添）



番号	河川	地点名称
1	地藏川	浜畑橋
2	小泉川	百間橋
3	宇多川	百間橋
4	真野川	真島橋
5	新田川	草野
6	新田川	小宮
7	新田川	木戸内橋
8	新田川	鮭川橋
9	浅見川	坊田橋
10	大久川	陸磯橋
11	仁井田川	松葉橋
12	夏井川	北ノ内橋
13	夏井川	六十枚橋
14	藤原川	みなと大橋
15	鮫川	鮫川橋
16	蛭田川	蛭田橋
17	阿武隈川	大正橋
18	阿武隈川	阿久津橋
19	広瀬川	阿武隈川合流前
20	広瀬川	館ノ腰橋上流
21	摺上川	阿武隈川合流前
22	荒川	阿武隈川合流前
23	移川	小瀬川橋
24	移川(口太川)	口太川橋
25	五百川	阿武隈川合流前
26	逢瀬川	阿武隈川合流前
27	大滝根川	阿武隈川合流前
28	釈迦堂川	阿武隈川合流前
29	社川	王子橋